

vol.13

こんにちは、最近読書してますか？「春休み期間、だらだらしちゃったよ…」という人、「忙しくてゆっくり読書する暇なんてとてとて…」という人、いるかと思います。

「大学生は本を読まなくなった」と言われることが多いですが、うららかな陽気の中、ゆったりと読書をするのもいいですよ♪

■学読班ってこんな団体です■

正式名称は…

「学生に読書をすすめる班」です。

メンバーでお互いに好きな本の紹介をしたり、その本を交換してみんなで読んだりすることで、楽しむとともに、それぞれの視野を広げていけたらと考えています。また、生協の書籍店舗と協力して、生協組合員の人がいろいろな本に挑戦するきっかけになるような企画を行っています。

こんなことやってます

○普段の活動

週に一度、みんなで集まって最近読んだ本の紹介をしたり、書籍で行う企画の話し合いをしたりしています。また、昨年は「耐久8時間読書」などの読書イベントを班内で行ったりしました。

○生協書籍での活動

昨年度は『学読的活字中毒』(年2回拡大版実施)を行いました。今年も続けていきますのでお楽しみに。

メンバー大募集！

学読班では随時メンバーを募集しています！「本が大好き」って人、「苦手だけど他の人はどんな本を読んでいるのか興味ある」って人、「自分の感動した本を紹介したい」って人など、どんな人でもOKです。

新入生の場合は4/6の新旧交歓会で生協委員になるだけ。2年生以上の場合は学生委員会までお問い合わせください。

書籍からのお知らせ

●新入生のみなさんへ

4/9 (月)から南部食堂にて教科書の販売を行います。必要な教科書はなるべく早くに購入するようにしましょう。

●新書の日

書籍では毎月新書の日といって、新書を3冊以上購入すると15% OFFになる日を設定しています。今月は4/28 (金)の予定です。これを機会にぜひぜひ読書にチャレンジしてみてください★

学読的活字中毒

～新学期拡大版～

学読班では今年度も『学読的活字中毒』と題して班員がお薦めの本を毎月紹介していきます。

この中から2冊一緒に購入すると何と15% OFF!のうれしい特典付き。今回はページの都合上、7ポイントという超小フォントサイズでお送りいたしますm()m (この文は9ポイントです)

◆4月の本◆



『国語入試問題必勝法』
清水義範 著
講談社 価格:670円
ISBN:978-4061847743

最初に、これは参考書ではなく短編集です。猿蟹合戦についての議論から始まり、老人4人のリレー小説を描いた物語で終わります。

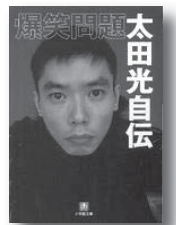
私のイチ押しは「時代食堂の特別料理」です。思い出の料理によって、お客さんに食べることの喜びを思い出してもらおうという内容です。日頃当たり前のように食事をしている我々にとっても、食べるという行為の大切さを再認識させてくれます。「食べるということは、生きる喜びなのです」

他にも、一人の老人が次第にボケていく様をリアルに描いた物語など、読んでいて退屈しない作品ばかりです。是非ともご一読を!

最近話題(問題?)の太田光。そんな彼の経歴がついに明らかになった。意外だったのは、彼には文学的教養があることである。根暗だった高校時代の彼は、図書館にこもっていろいろと文学を読んでいたら。もしかしたら、彼のボケ能力はこうして培われたのかもしれない(ボケに限らないが、漫才とかそういうのは頭の回転だけでなく、言語力も必要だ)。そう思って私も古典的名作に挑戦してみたが、あっという間に挫折した。太田は偉い。彼の偉大さの一端に触れたい方、あるいはその道で食っていきたい方は是非どうぞ。

これでああなたの太田光観が変わる!?

『太田光自伝』
太田光 著
小学館 価格:560円
ISBN:978-4094022865



『なぜ、男は「女はバカ」と思ってしまうのか』
岩月謙司 著
講談社 価格:735円
ISBN:978-4062721776

「ひどい!私のことなんてどうでもいいいでしょ」「女ってわかんねえな…」なんて言う前にちょっとこの本を読んでみては?男と女の間には大きな壁があると言いますが、こんなに思考回路が違うなら当たり前。男女はまるで別のイキモノなのです。「何か伝わらないなあ」と悩む女性の方に、「女がいると話し合いが進まない」と思っている男性の方にどうぞ。(両親のやりとりにも当てはまる部分が多々あります)

『中国古典一日一言』
守屋洋 著
PHP研究所 価格:670円
ISBN:978-4569563800

「中国古典を侮るべからず!」まさにその一言に尽きました。読み進めていくと、一つ一つの言葉が心に響きました。高校時代の漢文の授業の時のように、文章を朗読したくなってしまいました。今回取り上げられている思想家は、老子、荘子、孫子といった古代思想の巨匠たちです。これらの人物から学ぶことはたくさんあるはず。皆さんも是非、読んでみてください。



『職業としての学問』
ウェーバー 著
岩波書店 価格:420円
ISBN:978-4003420959

経済学者として名高いウェーバーが学生に対して行った講演を本にしたものです。経済的意味での職業、学問にたいしての心構え、学問についてといった論点です。経済学的学問論というよりも社会学的学問論という気がします。

『世界の日本人ジョーク集』
早坂隆 著
中央公論新社 価格:798円
ISBN:978-4121502025



「学読的活字中毒」は南部書籍レジ前のフースで展開中!

多くの日本人は外国からどういう風に見られているかを把握していないのではないかと考えた著者が集めた、日本人に関するジョーク本です。自分達では意外に気付かない国民性をうかがい知ることができます。どうやら日本人=金持ち、勤勉のイメージが強いようです。また、ジョークで様々な国の比較がされていて、日本だけでなく各国の捉え方も異なり、なるほどと思えるものばかりになっています。

今年度もいろいろな本を紹介していきます。みなさんもお薦めの本があったら教えて下さいね♪ 文責 学読班

俵万智のエッセイか何か「はる」という言葉は敬語なのに親近感を持たせる便利な言葉だ、というようなことが書いてあった。春の日差しが感じられる今日この頃、皆様どないしてはりますか? (みっくす)